

## 平成30年度 若年性認知症総合支援センター相談等実績

\* 東京都若年性認知症総合支援センター（NPO法人いきいき福祉ネットワークセンターに運営委託）を「目黒」、  
東京都多摩若年性認知症総合支援センター（社会福祉法人マザアスに運営委託）を「多摩」と表記

\* 目黒センターは平成 24 年 5 月に開設。多摩センターは平成 28 年 11 月に開設。

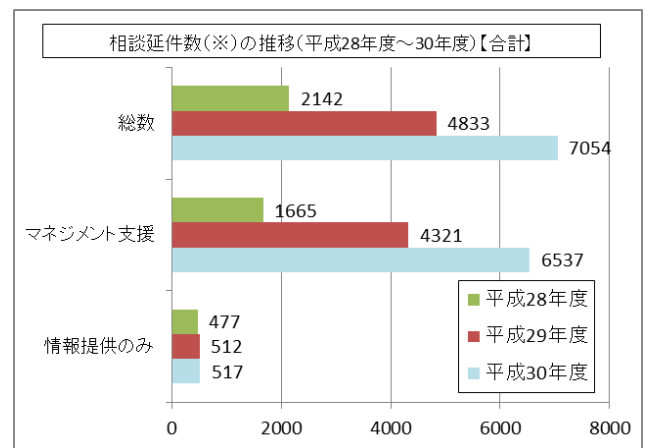
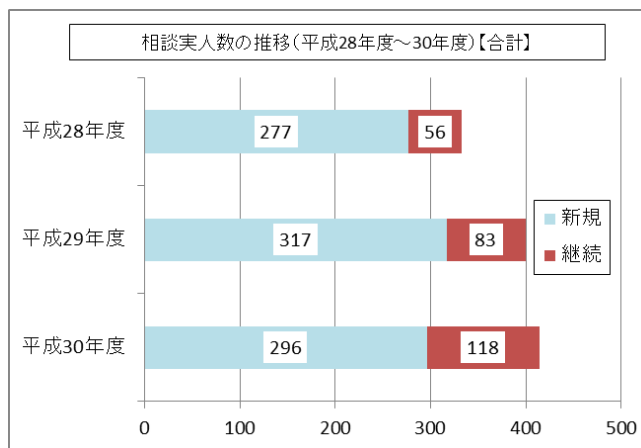
### 1 相談体制

若年性認知症支援コーディネーターの配置数は、目黒・多摩それぞれ 3 名。

### 2 相談実人数・相談延件数

平成 30 年度の相談実人数は、目黒が 285 人（内新規 203 人）、多摩が 129 人（内新規 93 人）であった。相談延件数は、目黒が 3,408 件、多摩が 3,646 件、合計 7,054 件（対前年+2,221 件）であった。

	相談実人数（人）			相談延件数※ （件）
		新規	継続	
目黒	285	203	82	3,408
多摩	129	93	36	3,646
計	414	296	118	7,054



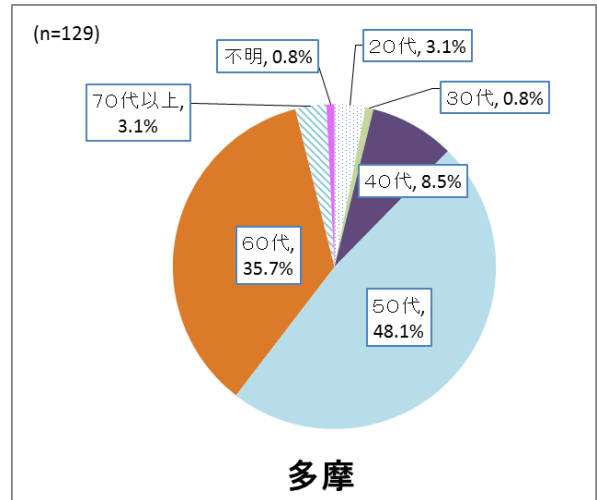
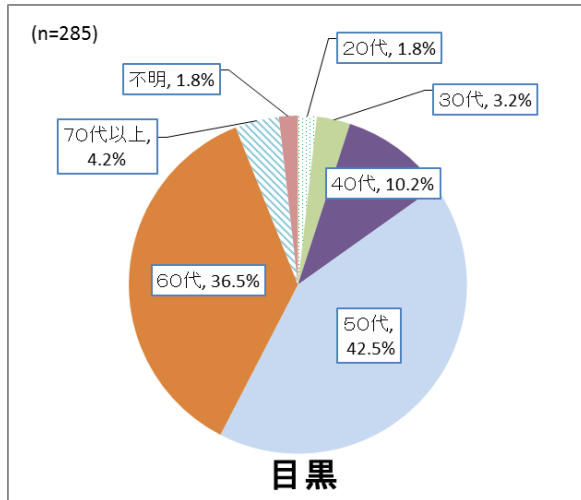
#### ※相談延件数

相談を受けた延件数と相談に対応した延件数の合計。

### 3 相談対象者・相談者

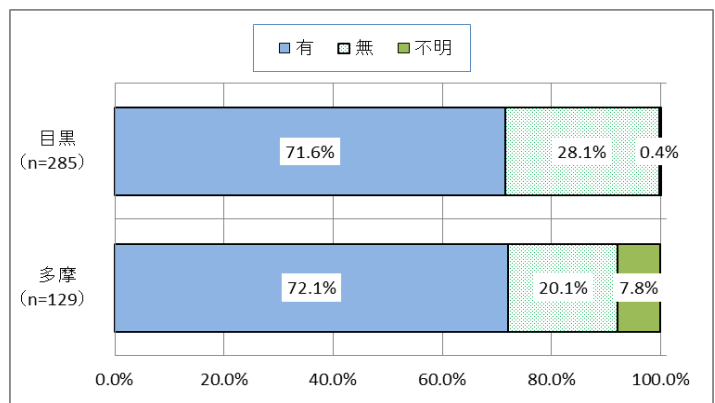
#### (1) 相談対象者の年代

目黒・多摩ともに50代が最も多く、次いで60代であり、50代と60代で全体の約8割を占めている。



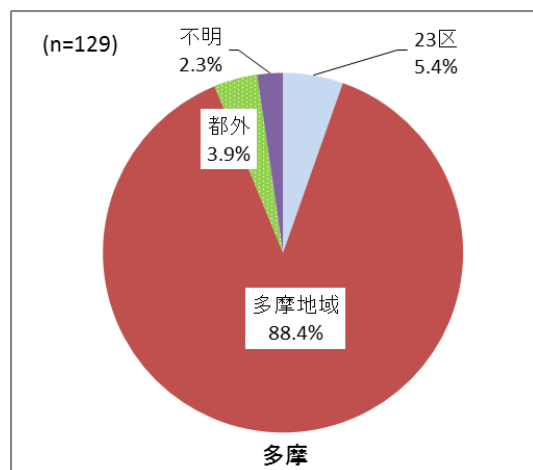
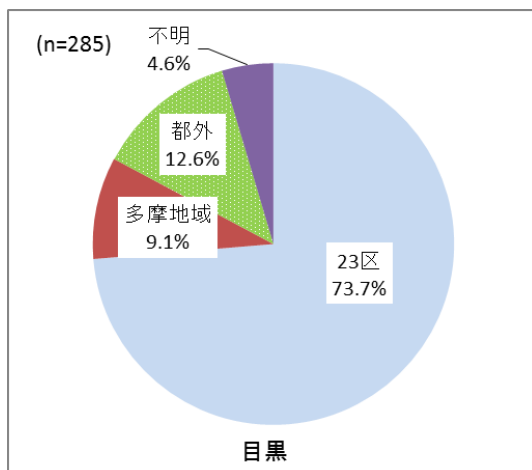
#### (2) 診断有無

認知症の診断について、診断を受けている人は、目黒では71.6%、多摩では72.1%であった。診断を受けていない人は、目黒では28.1%、多摩では20.1%であった。



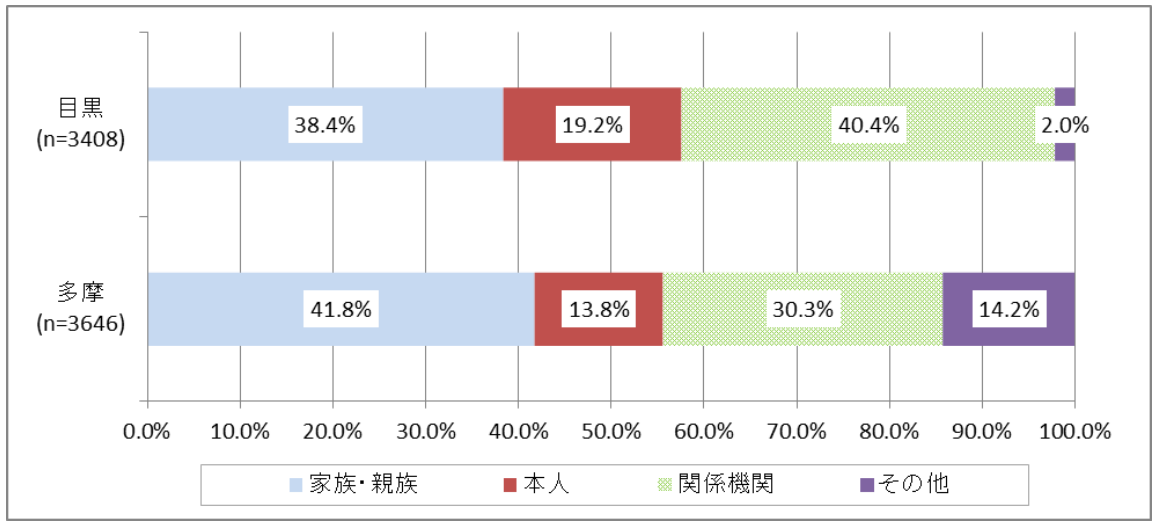
#### (3) 居住地

目黒の相談者は73.7%が23区居住、多摩の相談者は88.4%が多摩地域居住であった。



(4) 相談者の内訳

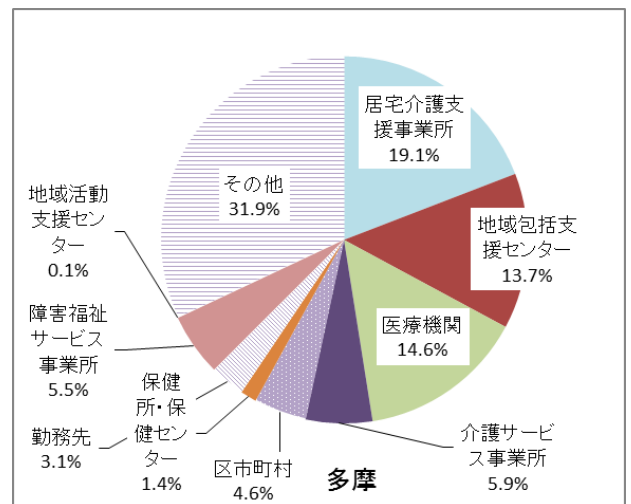
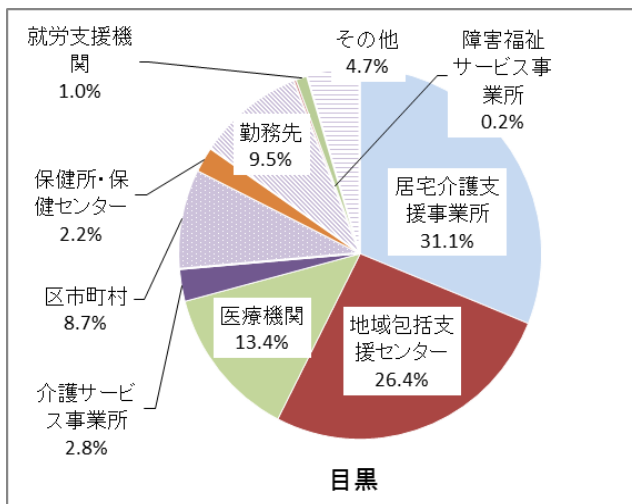
目黒では、関係機関からが 40.4%と最も多く、次いで家族・親族 38.4%であった。  
 多摩では、家族・親族からが 41.8%と最も多く、次いで関係機関 30.3%であった。



<関係機関の内訳>

目黒では、居宅介護支援事業所が 31.1%と最も多く、次いで、地域包括支援センター 26.4%、医療機関 13.4%の順であった。

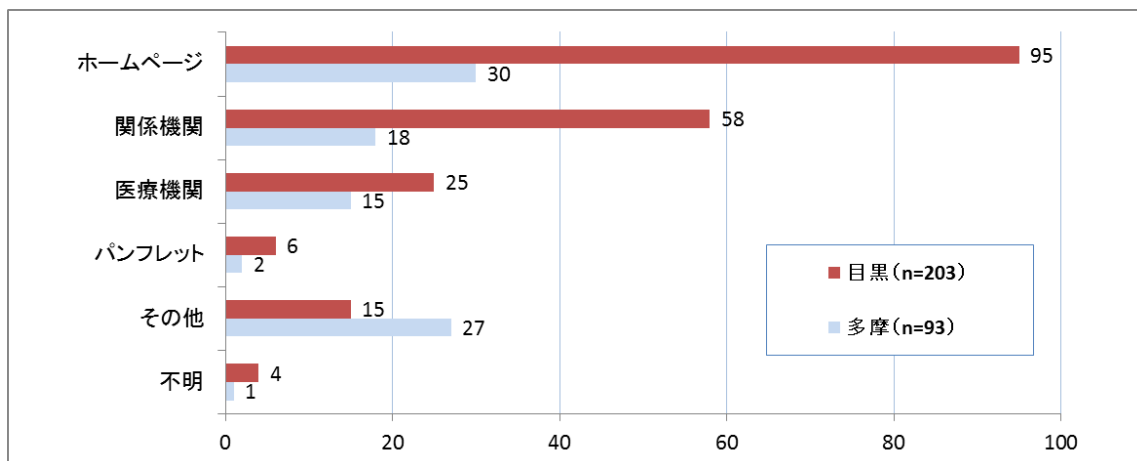
多摩では、居宅介護支援事業所が 19.1%と最も多く、次いで、医療機関 14.6%、地域包括支援センター 13.7%の順であった。



## 4 相談につながった媒体

目黒の新規相談者（203人）について、相談につながった媒体は、各センターや東京都のホームページが最も多く、次いで関係機関の順であった。

多摩の新規相談者（93人）について、相談につながった媒体は、各センターや東京都のホームページが最も多く、次いでその他（研修や講演会での宣伝や行政広告等）の順であった。



## 5 相談内容

### (1) 相談内容の内訳（実人数）

目黒では相談実人数の33.7%に対して、多摩では相談実人数の48.4%に対して、訪問・面談・会議等によるマネジメント支援を行い、必要な社会資源を導入するためのコーディネートを行った。

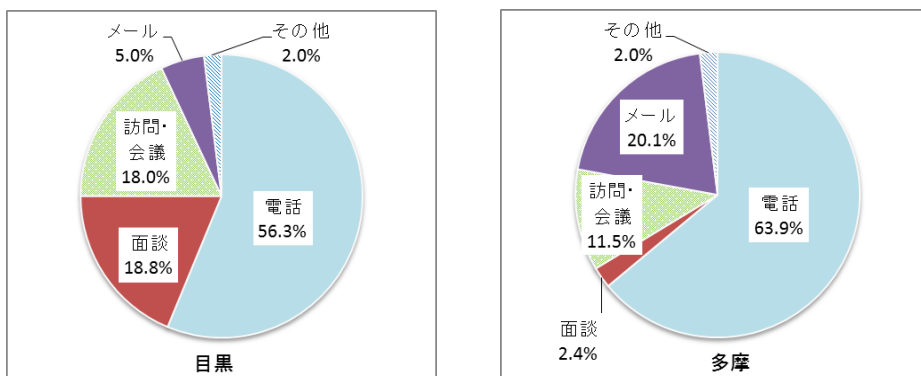
	マネジメント支援	情報提供
目黒	96 (33.7%)	189 (66.7%)
多摩	45 (48.4%)	48 (51.6%)
計	141 (37.3%)	237 (62.7%)

### (2) マネジメント支援の方法（割合）

相談支援の方法は、いずれも電話によるものが最も多く、約6割であった。

目黒では次いで、面談18.8%、訪問・会議18.0%の順であった。

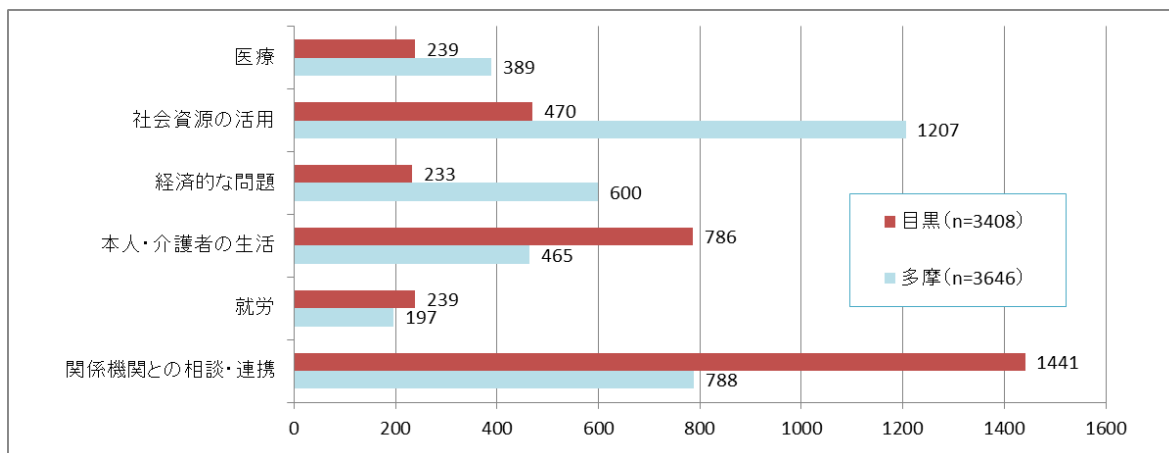
多摩では次いで、メール20.1%、訪問・会議11.5%の順であった。



### (3) 相談内容の分類（件数）

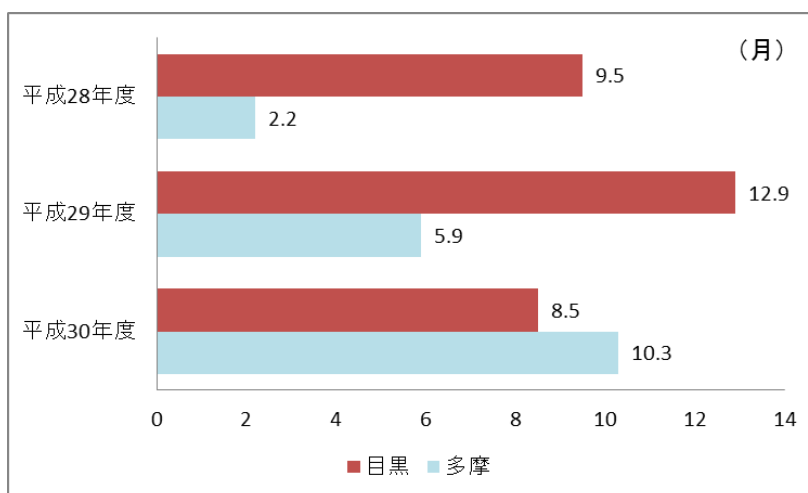
目黒では、「関係機関との相談・連携」に関する相談内容が 1,441 件と最も多く、次いで「本人・介護者の生活」に関する相談 786 件、「社会資源の利用」に関する相談 470 件の順で多かった。

多摩では、「社会資源の利用」に関する相談内容が 1,207 件と最も多く、次いで「関係機関との相談・連携」に関する相談 788 件、「経済的な問題」に関する相談 600 件の順で多かった。



### (4) 帰結までの期間

マネジメント支援の対象者について、平均帰結期間は目黒が 8.5 か月（対前年△4.4 か月）、多摩が 10.3 か月（対前年+4.4 か月）であった。



## 6 その他の取組

### (1) 目黒

#### ア 相談支援研修の実施

区市町村職員、地域包括支援センター職員を対象に研修を実施。

- ・第1回：6月18日実施（84名参加）
- ・第2回：10月9日実施（76名参加）
- ・第3回：2月22日実施（28名参加）

#### イ 認知症疾患医療センターと連携した講演会の開催

区西部の地域拠点型認知症疾患医療センターである社会福祉法人浴風会 浴風会病院と共催で1回、講演会を実施。

#### ウ 東京都、区市町村等が実施する研修等への講師派遣

- ・東京都認知症介護実践者研修
- ・若年性認知症支援コーディネーター研修 他 （計12回）

### (2) 多摩

#### ア 若年性認知症の人の受入先整備に向けた講座の開催

東京都地域密着型協議会と共催で1回、講座を実施。

#### イ 認知症疾患医療センターと連携した講演会の開催

北多摩西部の地域拠点型認知症疾患医療センターである国家公務員共済組合連合会 立川病院と共催で1回、講演会を実施。

#### ウ 東京都、区市町村等が実施する研修等への講師派遣

- ・東京都認知症介護実践者研修
- ・東京都介護支援専門員中規模研修 他 （計33回）